

# 医師への戒めの言葉



新潟大学 名誉教授 武藤 輝一

## 1. はじめに

これまで、臨床医学関係の教科書の冒頭には、患者の診療に当たり、医師自らを戒める言葉として“ヒポクラテスの誓い”の記載されることが多かった。現在、“医の倫理”に基づいて医療を行うべきことが強調されている<sup>1)</sup>が、ここに述べられているのは“医の倫理綱領”に関する広い範囲のことである。“ヒポクラテスの誓い”では、医師が患者の立場を尊重しつつ、患者や家族に接するあり方や、診療行為における医師の心掛けと、例として幾つかの診療行為のあり方について述べられている。“ヒポクラテスの誓い”を守りながらも、起きてしまった医療事故に対する訴訟などよりも前の段階のことであるが、医療費に係わる社会的共通資本<sup>2)</sup>に触れる内容も少し含まれている。

## 2. “ヒポクラテスの誓い”

ヒポクラテス Hippocrates (BC460-370) はギリシャ (エーゲ海) のコス島で医師ヘラクレイデスの息子として生まれ、当時、医学の中心地の一つであるこの地で医師となっ

た。紀元前300年少し前、アレクサンドリアの大博物館の図書館にあったものと現在のヒポクラテス全集 Corpus Hippocraticum とほぼ同じものであると言われ、この全集はヒポクラテスのほか、ギリシャ医学のコス派、クニドス派の両派の人達により大成されたと言われている。この大冊の邦訳書としては、今裕先生によるもの<sup>3)</sup>と小川鼎三先生ほかによるもの<sup>4)</sup>とがあるが、後者の方が口語体の文章であり分かりやすいので、こちらのものを記載させて頂く。

### 「誓い」

『医神アポロン、アスクレピオス、ヒュギエイア、パナケイア、及び総ての男神・女神たちの御照覧を仰ぎ、次の誓いと師弟誓約書の履行を、私は自分の能力と判断の及ぶ限り全うすることを誓います。

この術を私に授けていただいた先生に対するときは、両親に対すると同様にし、共同生活者となり、何かが必要であれば私のものを分け、また先生の子息たちは兄弟同様に扱い、彼らが学習することを望むならば、報酬も師弟誓約書もとることなく教えます。また

医師の心得、講義そのほかすべての学習事項を伝授する対象は、私の息子と、先生の息子と、医師の掟てに従い師弟誓約書を書き誓いを立てた門下生に限ることにし、彼ら以外の誰にも伝授は致しません。

養生治療を施すに当たっては能力と判断の及ぶかぎり患者の利益になることを考え、危害を加えたり不正を行う目的で治療することはいたしません。

また求められても、致死薬を与えることはせず、そういう助言も致しません。同様に婦人に対し墮胎用のペッサリー\*を与えることもいたしません。私の生活と術ともに清浄かつ敬虔に守りとおします。

結石患者に対しては、決して切開手術は行わず、それを専門の業とする人に任せます。

また、どの家には行って行くにせよ、すべては患者の利益になることを考え、どんな意図的不正も害悪も加えません。とくに、男と女、自由人と奴隷のいかにを問わず、彼らの肉体に対して情欲をみたすことはいたしません。

治療のとき、また治療しないときも、人々の生活に関して見聞きすることで、およそ口外すべきでないものは、それを秘密事項と考え、口を閉ざすことにいたします。

以上の誓いを私が全うしこれを犯すことがないならば、すべての人々から永く名声を博し、生活と術のうえでの実りが得られますように。しかし誓いから道を踏みはずし偽誓などすることがあれば、逆の報いを受けますように。』

以上がいわゆる“ヒポクラテスの誓い”である。今から二千数百年も前で、奴隷という差別などもあった時代の表現であり、現

代の表現に比べ違和感をおぼえるところがあるかもしれないが、意味するところをご理解頂けるものと思う。文中の墮胎用ペッサリー\*は今 裕先生の訳書では墮胎用器具と書かれている。この頃には既に墮胎用の薬剤も使用されていたようであり、器具のみならず薬剤も含めて考えてよいのであろう。

### 3. “善い医師”

恩師中田瑞穂先生は、先輩の大槻菊男先生（当時の東京大学第一外科教授）のお奨めを受けて著書“外科今昔”<sup>5)</sup>を出版された。その書の“善い外科医”の章の中に、

『……手術が必要な限り外科というものには善い外科医の存在が必須の条件であろう。これは古今東西に通用することと思う。我欲をおさえ善意に徹するということは、必ずしも容易とは思わないが、外科医こそこの善意が一番大切である。それに徹する努力は少なくとも忘れてはならない。……』

とある。“善い”という言葉の中には“人の為になる”“優れた”“正しい”“人の道に叶う”という意味が含まれている。外科医に向けた書であることから、これらの意味を含めて“善い外科医”であるよう心掛けることを奨められたのである。この心掛は外科医だけではなく、総ての医師の心掛けとなるものであり、私達医師は常に“善い医師”であるよう心掛け、努力しなければならないものと思っている。

### 4. おわりに

昨年、学会で“ヒポクラテスの誓い”についてお話した後、この誓いやその出典についてお尋ね頂くことが多かった。本稿では、主として“ヒポクラテスの誓い”についてご紹介

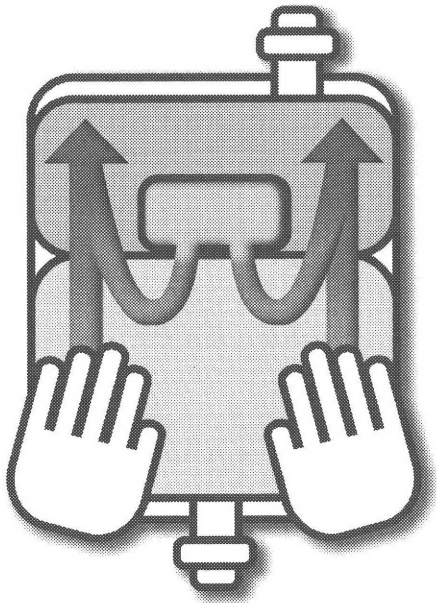
介申し上げ、これに関連し、“善い医師”について触れさせて頂いた。ご参考となれば幸いです。

「参考文献」

1. 日本医師会：医の倫理綱領、日医会誌 124巻・2号（付録）、2000.
2. 宇沢弘文：ヒポクラテスの誓いと社会的共通資本としての医療、日医会誌 134巻・1号、p.

28-33、2005.

3. 今 裕（訳編）：ヒポクラテス全集、岩波書店、東京、1921.
4. 小川鼎三、緒方富雄（編）：ヒポクラテス全集第1巻、Corpus Hippocraticum（「誓い」の章：大槻マミ太郎訳、p. 579-582）、エンタプライズ社、東京、1985.
5. 中田瑞穂：外科今昔、文光堂書店、東京、1958.



隔壁を開通してから  
使用すること



高カロリー輸液用 糖・電解質・アミノ酸・総合ビタミン液

指定医薬品 薬価基準収載

ネオパレン® 1号

指定医薬品 薬価基準収載

ネオパレン® 2号

NEOPAREN®

◇効能・効果、用法・用量、警告・禁忌を含む使用上の注意等は、製品添付文書をご参照ください。



発売元  
**大塚製薬株式会社**  
東京都千代田区神田司町2-9

製造元  
株式会社 **大塚製薬工場**  
鳴門市撫養町立岩字芥原115

資料請求先  
株式会社 **大塚製薬工場 医薬情報部**  
〒772-8601 鳴門市撫養町立岩字芥原115

（'04.06作成）